



2016・3・1

第 231 号

101-0065 東京都千代田区  
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

## 戦争法廃止の5党合意で参院選での共闘を

### 参院選共闘へ野党協議申入れ

【香川県／6団体】 香川県内の6団体が2月23日、県内の民主党、共産党、社民党の3党を訪ね「安保法の廃止、立憲主義の回復で野党統一候補擁立に向けた協議促進」を要請しました。

申し入れたのは9条の会かがわ、平和憲法を生かす香川県民の会、護憲香川、戦争をさせない香川1000人委員会、香川革新懇と安全保障関連法制に反対する香川大学有志の会です。

県民の会の森信夫事務局長は「平和憲法が改悪される動きも強まっており、共同の取り組みができれば」と話しました。

民主党は山本悟史幹事長、共産党は松原昭夫県委員長、社民党は高田良徳代表が応対しました。

### 5党合意に歓迎と期待の声

【青森県／県九条の会、憲法ネットあおもり】 青森市で2月24日、戦争法廃止を求める200万署名行動が行われ、県九条の会、憲法ネットあおもりなどの24人が、野党5党が選挙協力協議をスタートさせたことに触れ、「野党共闘を強くするため、運動

を大きくして安倍政権を迫りつめよう」と呼びかけました。

署名した女性(50)は、「野党が力を合わせて戦争法絶対廃止で頑張ってもらいたい」と話しました。「憲法9条は日本の宝物」と話し署名した50代の女性は「安倍政権はこれまで作り上げてきた日本社会を壊す政治ばかり。安倍政権はいやだと声を上げないと大変だ」と語りました。

かじかむ手を温めながらペンを走らせる人や、参加者を激励する人など30分で34人が署名しました。

### 野党間の共同を地域から促そう

【山梨県／九条の会、女性九条の会】 山梨9条の会と山梨女性9条の会は2月20日、甲府市内で小森陽一・九条の会事務局長を迎え講演会を開きました。

小森氏は、19日に5野党党首会談が実現したことについて「一度通った法律を廃止するということは、衆院でも参院でも選挙で野党が勝とうという表明です」と述べ「国民の大きな世論と市民の運動が動かした」と強調しました。

講演会には200人が参加。うたごえや、

県下各地で戦争法廃止を求める2000万署名などに取り組んでいる経験交流もしました。

### 地域で2000人の署名めざし

**【富山市水橋地域／水橋9条の会】** 富山市水橋地域では、戦争法の廃止をめざし、2000万署名を2000人分集めようと奮闘しています。

2000万署名のとりくみは、水橋9条の会と富山県民主医療機関連合会とが昨年11月から実施。土曜日を統一行動日にし、月に数回、地域を訪問しています。

1月30日の行動には10人が参加。5組で44人分の署名を集めました。2人の小さな子どもがいる30代の女性は、「そんな大変な法律だとは知らなかった。マスコミは、もっと報道してほしい」と話しました。参加者からは、「訪問したら、安保法制にいろんな意見があることがわかった。もっと勉強しないといけない」との声も出ました。

水橋9条の会は、寺や介護施設なども訪ね、署名への協力を呼びかけています。すでに、2つの寺から署名が寄せられています。ある寺では、住職の妻が、自身の父がパラオで戦死し昨年11月にパラオの追悼施設を訪ねたことなどを話し、10人分の署名を寄せました。

民医連ではない介護施設からも39人分の署名が届けられ、「この戦争法絶対反対です」と署名に書き添えた人もいました。

署名は2月18日時点で、水橋9条の会と富山診療所を合わせて約450人分を集約しました。

水橋9条の会事務局長の岡田美乃利さんは、「水橋6000世帯のうち3000世帯に、毎

月医療生協と9条の会のニュースがセットで届いている。とりくみを強めて、必ず2000万署名をやりきりたい」と決意を話します。

### 署名を通じ地域の人と気持ち通じ合う

**【長野県伊那市／竜東9条の会】** 伊那市の天竜川東部地域で活動する竜東9条の会は2月20日、戦争法廃止の運動を広げるために、「太平洋戦争と平和憲法」をテーマにした学習会を開き、北原明氏（県高等学校校長会元会長、手良9条の会会長）の話を約40人が聞き入りました。

世界史教員だった北原氏は、「アジア・太平洋戦争は内外に途方もない犠牲者をうんだ、悲惨極まりない侵略戦争だった。2度と軍人が権力を握る社会にはいけない」と語り、戦前の教訓に学ぶ大切さを述べました。

野党5党が19日に、戦争法廃止、国政選挙協力で合意したため、これを歓迎する空気に包まれました。戦争法廃止の2000万署名が「野党は共同」の一番強力な後押しになると、取り組みを強めることにしました。

約80世帯から130人の署名を集めた男性が経験を披露し、「一番うれしいのは、(戦争法問題で)地域の人と気持ちを通じ合えたこと」と語りました。

同会は、昨年8月に活動をスタートさせ、月3回のスタンディング宣伝、署名など活動を広げています。

### 相互の運動交流し署名推進へ

**【奈良県生駒市／憲法九条の会・生駒】** 憲法九条の会・生駒は20日、「自由と平和のための京大有志の会」の藤原辰史准教授

と「シールズ関西」の山口晶子さん、「安保関連法に反対するママの会奈良」の坪本加奈恵さん、夕田かなよさんを招き、創立11周年記念「戦争に行かない、だれの子どももころさせない」市民集会を生駒市内で開催し108人が参加しました。

藤原氏は、昨年7月に発表された同有志の会の「声明書」が20カ国の言語に訳され、反響が広がったことを話し、『言葉』ほど為政者にとって怖いものはありません。皆さんの日常生活から出てきた、私にしか出せない言葉をみがいて（為政者に）くさびを打ち込んでほしい」と話しました。

山口さんは「日本は、安保法制などより優れた平和憲法を維持しています。武器や暴力は憎しみを生みます。そのことを忘れてはいけません」と訴えました。

1月20日に結成された「ママの会・奈良」の坪本さんは「平和な未来を子どもたちにどうしたら手渡せるのか学んでいきたい」と話しました。

参加者からは「現在の若者に立憲主義はどの程度浸透しているのか」など質問が相次ぎ、藤原氏らが答えました。

## 毎月の対話・署名重ね125回

【岡山県高梁市／高梁9条の会】 高梁9条の会は2月27日、市街地域の各戸を訪問し「憲法違反の戦争法は廃止を！」のチラシを配りながら対話・署名の共同行動を行いました。共同行動は毎月行っているもので今回が通算125回目。

この日の行動には時光重孝代表世話人をはじめ10人が参加。約1時間で51人から署名が寄せられました。これで会に託され

た戦争法廃止の署名累計は368人になりました。

在宅の訪問先のほとんどで「戦争は絶対にいけません」と署名に応じてもらいました。特に、安倍政治への怖さや批判の声が多く語られるとともに、「寒いのにごろうさんです、私たちの分までがんばってください」などと、今までにない響き合う対話がありました。また、署名用紙に書かれた請願趣旨の全文をしっかりと読んだあと納得して丁寧に署名する中学生もいて、参加者は励まされました。

## 九条の会結成の便り

【岐阜県養老町／9条の会・養老】 2月20日、「9条の会・養老」の設立総会が行われ、会場いっぱいの55人が参加しました。

代表世話人の中野一美さん（68）が発足経過を報告し、「野党5党が戦争法廃止法案を共同提出しました。憲法違反の戦争法を廃止するには、世論の後押しが必要です。養老にも9条の会が発足し、声を上げていきます。野党共闘を実現させて参院選で自公勢力を過半数割れに追い込んでいきましょう」と述べました。

西濃地域で活動している5つの「9条の会」の代表が連帯の言葉を送りました。

記念講演では、揖斐郡揖斐川町（旧藤橋村）の真宗大谷派住職の横山周導さん（92）が、戦争体験と憲法9条がつなぐ現在と未来について講演し、過ちは繰り返してはならないと墓参活動の様子を語りました。

会場では絵本の「新・戦争のつくり方」電子紙芝居を上映。